



PTMC
matchday program



2018
9.7(fri)

VOL.04 第42回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 準決勝

真の大学日本一へ



ゴミは各自で
お持ち帰りください。

決勝戦も有料



発行：関西学生サッカー連盟
TEL 06-6268-6400
WEB <http://www.jufa-kansai.jp/>

Match Preview 試合の見どころ

ヤンマースタジアム長居

15:30 KICKOFF

Reported by 貞永晃二(サッカーライター)

明治大学	VS	大阪学院大学
------	----	--------

明治大学・栗田大輔監督は、「とにかく優勝するためにやっている。日々の努力を成果として出すだけ。積み重ねたことをきちっと表現してくれていることと、この大会は3年連続決勝進出しているの、そういう力が原動力。(準決勝は)相手の試合をじっくり見て研究したい。見ている人が決めろ!と思うときに決められないから、間延びをして後半はバタバタするようなゲーム展開になった」と決定力を課題に挙げた。

大阪学院大学・藤原義三監督は「(主将の三木水都は)今日も出たがったが絶対アカン、みんなを信じろと。彼を外して違う力が出たのではないかな。明治大学は強いだろうけど、相手はどこでもいい、一戦必勝。毎試合しっかり全員で守る。攻撃のことは何も言っていない。失点ゼロのための条件を挙げていて、一人ずつがそれを守れば失点は絶対ゼロに近づくとやっている。いい守備ができれば、いい攻撃ができると」と一切ブレはない。

18:00 KICKOFF

Reported by 佐藤謙治(読売新聞社運動部)

中京大学	VS	大阪体育大学
------	----	--------

2011年大会以来の優勝へ向けて意気上がる大阪体育大学と、強豪の関東勢を撃破して波に乗る中京大学。好調なチーム同士の準決勝は、球際の争いや攻守の切り替えの速さ、一瞬の判断が明暗を分ける激戦が予想される。

大阪体育大学は福岡大学との2回戦、駒澤大学との準々決勝と2戦連続で延長戦を粘り強く勝ち抜いた。堅守をベースにしながら縦に素早く球をつなぐ意識が高く、前線の運動性も秀逸だ。ポイントは一本調子になりがちな攻めの形をどう増やすか。松尾元太監督は「チームは着実に成長している」と手応えを語る。

中京大学はここまで3試合で7ゴールを挙げ、法政大学と専修大学を破って勝ち上がった。夏場の合宿で鍛えた疲れ知らずの運動量は脅威的で、90分を通して前掛かりに攻め続ける積極性は迫力がある。課題は全体の重心が下がった時の守備か。永富裕也監督は「タフな相手だが、つないで攻めるサッカーを貫きたい」と強調する。

テレビ放送のご案内

放送局	放送日	放送時間
読売テレビ	9月9日(日)	25:32～ 関西ローカル
日テレG+	9月22日(土)	11:00～
あすリートチャンネル 	9月9日(日)	18:00～ LIVE配信

※放送時間は変更になる可能性があります。大会プログラムP.6・7にも掲載しています。

関西学生サッカー連盟公式SNS

- ①試合前日には、公式facebookにて試合の見どころをご紹介!!
- ②試合当日には、公式Twitterにて全会場の前半スコア&試合終了時スコアを投稿!!
※当日のメンバー表&公式記録は公式facebookにて投稿します。
- ③試合後の詳しい結果を公式facebookにて投稿!!

各公式サイトへはQRコードより読み取り、アクセスいただけます。
大会情報盛りだくさんの関西学生サッカー連盟公式SNSをぜひご利用ください!

SNSアカウント一覧

facebook



Twitter



Match Review Result & Report

Reported by 佐藤謙治 (読売新聞社運動部)

大阪体育大学

VS

駒澤大学

縦に速く、鋭く。大阪体育大学が目指すサッカーが土壇場で結実した。延長後半8分、MF8、堀内颯人(4年)が中央をドリブルで突進。放ったシュートはGKにはじかれたが、そのこぼれ球に自ら反応した。落ち着いてGKの動きを読み、冷静にゴール左へ流し込む。歓喜するチームメートにもみくちゃにされた。

前半は大阪体育大学のペース。相手DFラインと中盤の間に攻撃陣が進入し、細かいパス回しでチャンスを作った。先制点は11分。MF20、西田恵(3年)が右サイドをドリブルでえぐり、中央に低いセンタリングを送る。FW28、アフラギ・マハディ(3年)が走り込んで合わせ、先制ゴールを押し込んだ。31分にセットプレーから追いつかれたが、39分には再び西田が右サイドを突破し、今度は自ら勝ち越しゴール。主導権を握った。

後半は駒澤大学が反撃する。最後尾から長いボールを前線に送り、テクニックに秀でたMF10、中原輝(4年)らを中心にゴールを脅かした。後半ロスタイム、右サイドでFW18、矢崎一輝(2年)が放ったシュートが相手に当たってオウンゴールに。試合は振り出しに戻った。

大阪体育大学は前回大会、準々決勝で同じ関東勢の筑波大学に逆転負け。嫌な記憶がよみがえる展開にも、選手は下を向かなかった。素早く前につなぐサッカーを貫き、延長からトップ下へポジションを移した堀内が決定的な仕事を成し遂げた。松尾元太監督は「去年の壁を越えてくれた。このまま頂点まで走り抜きたい」と力強く宣言した。

2018年9月5日(水) 15:30キックオフ
会場/キンチョウスタジアム 天候/晴 入場者数/415人

大阪体育大学	3	2-1 0-1 0-0 1-0	2	駒澤大学
11分 アフラギマハディ(西田恵)		得点	31分 高橋潤哉(中原輝)	
39分 西田恵		(アシスト)	90+3分 オウンゴール	
108分 堀内颯人				



Reported by 佐藤謙治 (読売新聞社運動部)

中京大学

VS

専修大学

中京大学の勢いが止まらない。試合開始直後から前へ前へと向かうスタイルが、試合の主導権を握る立て続けのゴールに結びついた。

両サイドバックが同時に高い位置を取り、数的優位を作り出して攻めた。先制ゴールは8分。MF11、東家聡樹(3年)がゴール前の混戦から押し込んだ。リードしても引かず、イーブンな球の奪い合いを鋭い出足で制してさらに前へ。24分、CKからDF5、及川純平(4年)が押し込んで追加点。そして3点目は、球を主体的に動かした。中央から右のDF6、青木天良(3年)に展開。青木が球足の長いクロスをゴール前に送り込み、トップスピードで走り込んだ東家が右足で合わせた。「全員のベクトルが一致したゴール」と東家は胸を張った。

2回戦で関東地区第1代表の法政大学を破った勢いをそのままに、再び関東の強豪を撃破。「うちはチャレンジャーで失うものはない。法政大学に勝って、ここで負けたらまぐれと言われかねないので、絶対に勝たなかった」と東家。挑戦者として快進撃を続け、永富裕也監督は「選手たちはどんどん成長している」と目を細める。

専修大学は43分、FW18、下田悠哉(4年)が頭で押し込んで1点を返した。後半もサイドを起点にして反撃したが、決定機を生かせなかった。

2018年9月5日(水) 18:20キックオフ
会場/キンチョウスタジアム 天候/晴 入場者数/336人

中京大学	3	3-1 0-0	1	専修大学
8分 東家聡樹		得点	43分 下田悠哉(中山克広)	
24分 及川純平		(アシスト)		
31分 東家聡樹(青木天良・大城佑斗)				



Match Review Result & Report

Reported by 貞永晃二(サッカーライター)

明治学院大学

VS

明治大学

2018年9月6日(水) 15:30キックオフ
会場/ヤンマーフィールド長居 天候/晴 入場者数/278人

序盤の探り合うような展開から、15分を過ぎると明治大学が主導権を握り、26分には波状攻撃で3本のシュートを浴びせるが、相手GKの好セーブ連発で決められない。それでも29分、明治大学はFW9、村田航一(4年)の横パスをMF31、森下龍矢(3年)が決めて先制する。反撃したい明治学院大学だが、敵陣にボールを運ぶのがやっとの苦しい時間が続く。それでも、明治学院大学は42分、MF17、武田義臣(1年)が中央から強引に仕掛けて前にこぼれたボールを蹴り込む。前半チーム唯一のシュートが同点弾になるのだからサッカーは怖い。しかし、栗田大輔監督が「振り出しに戻っただけ、1点を取りに行こう」と話すと気持ちを切り替えた明治大学は、後半開始早々の49分に右からのクロスをファーサイドで受けた森下龍矢が冷静にしかし強烈な一発で自身2点目をゲット。明治学院大学が59分の絶好機を逃すと、以降明治大学は決してスキを見せてはくれなかった。関東予選(アミノバイタルカップ)準決勝(明治学院大学が3-3、PK勝利)の再戦は、明治学院大学・鈴木修人監督の「スコア以上に強さを見せつけられてしまった」という言葉通りの試合に終わった。

明治学院大学	1	1-1 0-1	2	明治大学
42分 武田義臣		得点 (アシスト)	29分 森下龍矢(村田航一) 49分 森下龍矢(小池剛)	



Reported by 貞永晃二(サッカーライター)

鹿屋体育大学

VS

大阪学院大学

2018年9月5日(水) 18:00キックオフ
会場/ヤンマーフィールド長居 天候/晴 入場者数/466人

試合は、鹿屋体育大学ペースで進む。大阪学院大学は、チームの大黒柱で主将のMF14、三木水都(4年)の負傷欠場を、全員の高い守備意識と集中力で埋めた。しかし後半、先制したのは鹿屋体育大学。59分、正面左寄りで得たFKをMF10、樋口雄太(4年)が見事にゴール左上スミに決めた。その後、鹿屋体育大学は相手より多い3試合目ということもあり、交代カードを切ってやや守りに重きを置いた感があった。大阪学院大学は攻め込むものの、鹿屋体育大学は早稲田大学を倒して得た自信の粘り強い守備ではね返していく。しかし、大阪学院大学はついに90分、右CKからFW9、井上泰斗(3年)が決めてみせる。「交代の声はあったが、俺は泰斗が何かやる。エースは絶対外したらアカン」という藤原義三監督の信頼に応える同点弾だった。延長戦では決定的な場面は訪れずPK方式へ。そして、1本枠外に外した鹿屋体育大学が涙を吞んだ。「関西2つとも負けたらというのがしかかっていた。(延長戦で)大阪体育大学の結果が分からなくて、試合中も大阪体育大学勝ってくれと思っていた(笑)」と、関西第1代表の重圧から少し解かれ、大阪学院大学・藤原義三監督は安堵の表情だった。

鹿屋体育大学	1	0-0 1-1 0-0 0-0 4PKS	1	大阪学院大学
59分 樋口雄太		得点 (アシスト)	90分 井上泰斗(川崎健太郎)	



Official Goods

第42回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント グッズ販売！

●ユニフォーム型ストラップ

販売価格 500円

全24チーム分販売！

売り切れ御免！



●記念タオル

販売価格 700円



●公式プログラム

販売価格 1000円

販売は各会場入場ゲートにて。
ご来場の記念にぜひお買い求めください！

第42回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 広報企画！

トモニタカオウ企画

トモニタカオウ企画として出場校の選手やスタッフたちが書いた「応援をしてくれる仲間や家族、恩師などに向けてのメッセージ」を関西学生サッカー連盟公式Google+アカウントにて公開しています！是非ご覧ください！



第42回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 勝敗予想企画！

試合観戦で素敵な商品をGETしよう！！
●勝敗予想企画でマダム商品が当たる



■勝敗予想

応援するチームの勝利を予想して景品を当てよう！
試合開始前に勝敗予想用紙を勝敗予想BOXに入れてね！



TICKET お買い求めについて

チケットぴあにて販売中！ (準決勝より有料)

チケットぴあ
(Pコード 675-405)

	前売り	当日
大人	¥800	¥1,000
中高生	¥300	¥400

※試合会場でもお買い求めいただけます。お買い求めは入場ゲート横物販コーナーにて。



禁煙

禁煙・ゴミの持ち帰りに
ご協力をお願いします。



好プレーに

CLAP

関西学生サッカーファンクラブのご案内

関西学生サッカーを盛り上げるため、選手たちを熱くサポートしよう！

◎会員特典

- ① 関西学連主催・主管大会の入場無料。
- ② 関西学連主催・主管大会のプログラム・チケットの送付。
- ③ ファンクラブニュース、年10回程度発行。

【お申込み】

下記の宛先に顔写真(2×3cm)2枚と年会費(4000円)、「氏名・住所・電話番号・生年月日・年齢・職業・応援している大学・選手」をご記入の用紙を同封し、現金書留にてお申込み下さい。

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-4-10 博労町エステートビル601

関西学生サッカー連盟「ファンクラブ入会」係 まで

